

わせて、西側は既に用地があるので確保できているんですけども、東側が確保できないということで、少し埋立て等も入った形で、滑走路の延長ではないんですけども、施設自体の延長が少し長くなるというところで、これも事業主体は県になりますので、まだいつ着工するかとかいったところまではまだ決まっておられません。ただ、計画としてはございます。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 5番、坂本充弘君。

○議員（5番 坂本 充弘君） ありがとうございます。ぜひ引き続き、市長の手腕によってさらに新たな息を吹き込んで、対馬の道を極め、「離」の境地を目指して頑張っていただきたいと思っています。

公約どおりこれができますように、私のほうも頑張っていきたいと思いますので、市長の出馬の決断、前向きにとおっしゃいましたけども、最後に一言、よろしく願います。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 最後ということでございますけども、今、申し上げたとおり、また正式には後日、発表させていただきたいという思いでございます。

○議長（初村 久藏君） 5番、坂本充弘君。

○議員（5番 坂本 充弘君） 分かりました。結論は期待しておりますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

これで私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） これで、坂本充弘君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩します。再開を11時5分からといたします。

午前10時50分休憩

午前11時05分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 皆さん、おはようございます。

私は今回の一般質問は、7月の中旬以降にある電話がございました。これは大型観光バスの乗降です。お客を乗り降ろしする、こういうことなんですけど、このことで、現在、ちょうどふれあい処つしまの向かい側の交番の右側、ここが1か所、僅か1か所、そこで乗り降りしてくださいよと、しかも所要時間を5分以内にしてほしいという内容でした。

そういうことが、現在、調べてみれば、60台の観光大型バスがおります。そのようなことが

できづらいという中で、仕方なく乗降を市庁舎、市の前でやったんだろうが、南署の交通課のほうから取締りが入りまして、今度、二度とやれば切符を切るよというふうなことを言われたそうです。

それで、この問題は、過去、令和3年第3回定例会、船越議員、それと、令和4年第1回定例会、春田議員、同じような質問を同じ内容ですることはよくありませんから、私なりにもう少し進めたというより、先を思い切ったかじを取るべき思いで、市長に問うてみたいと思うんですが、よろしく願いいたします。

金石城跡地の活用について。

この件については、過去、令和3年第3回定例会、令和4年第1回定例会において、博物館建設後、旧巖原幼稚園跡地に大型バスを中心とする駐車場としての利用について、かなり強い熱望でありました。そういう発言を聞いております。このことは、いまだに合意に達しておらず、本年3月中旬以降、コロナによる入国措置は緩和され、韓国観光客も徐々に増加の傾向にある。

先ほどのことですが、1か月半前に、市役所前道路で大型バスの乗降に警察の取締りがあり、業者は不満を持っているようにあります。現在、交番前の1か所を乗降場所としているが、市は現状の認識に欠けているのではなかろうかと私は思います。

令和4年第1回定例会一般質問の折、市長答弁では、委員会、文化庁のハードルが高いような発言を私なりに取っておるんですが、この点については、バス業者、対馬市、委員会、文化庁、おのおのの言い分がございましょうが、再度テーブルに着いて、一から話し合う必要があると思いますが、市長の意見を本日、再度、1回、2回終わった話でしょうが、再度話を賜りたいと思います。

次に、峰公認陸上競技場の利用状況について。

従来型のグラウンドに対し、全天候型トラックの新設後の利用状況、効果、このことについてお尋ねをいたします。

また一方で、中学駅伝大会について、この会場が以前、利用されておったんですが、それが、そうでなくなった、この理由について、教育長のほうから答弁をお願いしたいと思います。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 大浦議員の質問にお答えいたします。

初めに、金石城跡地の活用についてでございますが、御指摘のとおり、過去、複数回にわたり御質問をいただいております。国史跡金石城跡の南東に所在していました巖原幼稚園は、1918年に開園し、2014年4月、巖原町日吉地区に移転した後、同年に解体、整地され、その跡地は、2015年4月から2018年3月まで、バスの乗降場所として、また、博物館建設中は、作業ヤード、資材置場として、仮に使用してまいりました。

金石城跡周辺の環境につきましては、博物館駐車場、巖原体育館、清水が丘多目的広場、市役所駐車場に加え、対馬市交流センターなどの有料駐車場があり、乗用車の駐車場環境は、比較的確保されていると認識しております。

一方、バス駐車スペースにつきましては、現在、対馬朝鮮通信使歴史館横に駐車場を整備しており、来年度4月にはバス3台が駐車できる予定であります。

過去には、巖原幼稚園跡地での乗降時、利用時に、砂ぼこりや排気音で近隣住民の皆様に御迷惑をおかけしたこと、橋や石垣等への接触事案も発生しております。また、小宮議員の御尽力によりまして、観光バス事業者のほうの協議会を立ち上げていただきました。そのことで、西の浜駐車場の利用ができないかということで、協議も進められているというふうには聞いてはおりますけれども、その後がちょっとまだあまり先に進んでいないということをお聞きしております。

今後におきましては、こうした実情を踏まえながら、観光バス事業者団体の動向を注視、検証し、金石城跡地の利活用について、引き続き、文化庁等との関係機関との協議を進めてまいりたいというふうに考えております。

私のほうからは以上であります。

○議長（初村 久藏君） 教育長、中島清志君。

○教育長（中島 清志君） 大浦議員の質問にお答えします。

峰公認陸上競技場の利用状況についてでございますが、峰公認陸上競技場は、従来の土のトラックから全天候型のトラックへ改修を行い、平成29年6月10日から全天候型トラックの使用を開始しております。

改修前と改修後の利用状況につきまして、前後2年間の状況をお伝えします。

改修前の平成26年度が申請件数58件、利用者数が7,847人、平成27年度が申請件数32件、利用者数が6,915人となっております。

全天候型へ改修後の平成29年度は、申請件数が91件、利用者数が8,509人、平成30年度は申請件数が110件、利用者数が4,330人となっております。令和2年度以降の新型コロナの影響で各種大会が中止されるなど、利用件数や利用者が大幅に減少しておりますが、令和5年度においては、利用件数や利用者数も以前の状況に戻っている状況でございます。

人口減少により利用者数の大幅な増加は難しいと考えますが、利用件数については増加傾向にあると認識しております。

全天候型への改修による効果といたしましては、雨天でも使用可能になったことが上げられます。土のトラックのときには、雨天の場合、大会の実施等の判断が難しく、実際に中止となる場合も多くございました。しかし、全天候型に改修を行ったことで、雨天時でも大会の中止や延期がほとんどなくなったため、運営側の負担が減りました。競技者も再度調整を行わずに、予定ど

おり大会に臨むことができるようになりました。

中でも最大の効果は、競技力向上につながっていることです。島外で開催される大会の競技場のほとんどが全天候型であり、土のトラックとはスパイクが異なり、走り方も変わってくるため、本来のパフォーマンスが発揮できないことも多くありました。全天候型の競技場となったことで、日頃から全天候型のトラックでの練習が可能となり、島外大会でも競技場の違いによるハンデが克服され、対馬市の陸上競技力向上に寄与しているものと考えております。

次に、中学校駅伝大会の開催場所についての御質問ですが、中学校駅伝大会の開催、運営等は、中学校体育連盟で行っております。そのため、中学校体育連盟に確認をいたしましたところ、会場を峰から豊玉総合運動公園の周回コースに変更した理由は、選手の安全確保であるとのことです。

大会前の試走及び大会本番において、過去には何度も選手と車両が接触しそうになる危険な状況が発生しておりました。そのため、中学校体育連盟としては、事故が起きてからのコース変更では遅いとの判断により、選手や応援者の安全面を第一に考え、令和2年度の大会から豊玉総合運動公園内での実施としており、現在は安全に運営ができているとのことです。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 2人の議員の質問と重なることがないように、できるだけ違うことの範囲で絞った質問をしてみたいと思います。

ちょっと引っかけるといいますか、令和4年第1回の定例会の折に、春田議員の市長の答弁の中で、委員会が要望を駐車場として活用できるような方向で、ことを進めたいと思うけども、今のところ、乗降だけというふうな格好の話があっております。それで、委員会と何やら私も分からんもんですから、尋ねたところ、金石城のいわゆる敷地内で、過去の史跡の発掘やら云々をチェックできるような体制を取っていると思われるのですが、本土の大学から3名ほど、それから地元のほうから、対馬文化財保護審査会長、そして技術的な石垣を積むような所属のほうから1名、5名の委員の中でこのことが話し合われて、地元の新たな利用、活用があった場合には、その委員会で検討し、文化庁とも協議して決定するというふうにするんですが、対馬市の方向づけなんです、住民の思いに対して100%これをぶつけていくものか、あるいは調整して物事を持っていこうとするのか、この辺の感触をちょっと市長に聞いてみたいと思います。

ですから、バス業者が従来型の工事をする前、建設をする前の状態にバスはあそこで止まっておったのを私もよく存じておりますが、あの状態ができないようになった、そしてなぜできたか、ここらあたりははっきりしてみたいと思うんですが、いかがでしょうか。お願いします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 博物館建設中に、ここの幼稚園跡地を活用させていただいたのは、あくまで仮に建設するときの資材置場として、臨時的に活用を許可していただいたということでございます。

実は、対馬藩関連遺産群保存活用計画等検討委員会が、この9月12日、月曜日にも開催をされておりますので、この際に、市のほうからもここの活用についてお願いをしていただきたいということで、教育委員会のほうにもお願いをしていたところ、この検討委員会でもいろいろと議論がされているようであります。

この議論の内容については、教育長のほうから答弁をさせていただきたいと思います。

○議長（初村 久藏君） 教育長、中島清志君。

○教育長（中島 清志君） 失礼いたします。今週の月曜日と火曜日に、ちょうどこの委員会が開催されました。火曜日、議会と重複したために、私、月曜日だけ出席をしまして。その中で、ちょうどタイムリーにこの話題を出して、御意見をいただきました。その概要を担当からまとめてもらいましたので、ここで紹介をしたいと思います。

まず、史跡保護の観点からの御意見を4ついただいております。

大手門前広場は、お城に登城するときの道として整備された空間である。ただの広い空間ではなく、貴重な遺構が残る空間である。

2点目は、現存する石垣の状況、絵図に描かれた配置から考察しても、金石城跡の中で最も防御力を高めた空間であり、むしろ積極的にその価値を発信し、見学者に見てもらいたい空間である。

3点目、史跡として守るべき空間として保護されている空間をバス乗降場として活用するという案について、文化財の保護、活用を答申する委員会として積極的に了承することはできない。

4点目、他県、他市でも同様の事例はよく目にするが、いずれも文化庁からは、指定地内に便益施設を整備することについて、不可という指導を受けているという御指摘をいただきました。

私自身も認識が不十分だったと思いますのは、教育委員会は、もう少しあの空間、広場が貴重な文化財であり、国指定なんだということを広く市民に周知する努力が足りないという御指摘をいただきました。

以上、その委員会の報告とさせていただきます。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） このことが今までのブレーキであった発言だろうと私は思うんです。非常に、市長の4年の第1回の定例会の発言というのは、委員会ということを非常に会議録の中では出ておりましたが、ここが一つのハードルだなというふうに思いはしたんですが、今の格好は空間という意味ですから、石垣を見るとかそういうふうなことが、駐車場になればそこ

が見えんようになりますよと。そういう場所に大型バスなどを駐車することは遠慮くださいと、簡単に言えばそういうことですよ、教育長。私はそういうようにあなたの説明を取ったんですが、どうですか。

○議長（初村 久藏君） 教育長、中島清志君。

○教育長（中島 清志君） あの広場自体が国指定の文化財そのものであるということです。したがって、文化財の中にバスを乗り入れることが認められないという御指摘です。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 今、清水が丘の多目的広場、そして巖原体育館、これは同じ御殿という場所ですね。御殿跡と書いています。そして発掘調査をした後に自由に申請どおりさせたということで、広場と建築物が建っております。これをどう解釈しますか。

○議長（初村 久藏君） 教育長、中島清志君。

○教育長（中島 清志君） 旧巖原中学校のグラウンド、そして、現在の巖原体育館も含めて文化財の指定区域になっているんですけども、ここ現在は、以前から駐車場として利用されておりました。今回、新たにその広場のところが国指定の文化財というふうになったために、これについては、新たに変わったところについては含めないと。従来のところについても、今後、長期的な計画になると思いますけれども、巖原体育館とかグラウンドも含めて整備をされていく中で、これはまだ推測ですけども、おそらく中に車が入れない状況というのが生まれてくる可能性があることを認識しております。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 今の話は市民一般、私ら含めて理解はできません。車を入れなとか、そういう話では私はないと思う。

もう一つ、確認を取りたいことがあります。市長でも教育長でも結構です。金石城のパンフレットをちょっと見せてもらいました。この中に、説明が、長崎県対馬歴史研究センター所蔵と書いてある昔の地図みたいなのがあります。その一番目にあるのが大手門、枳形虎口というこの場所です。今、駐車場にどうのこうの言っているのは、そういうことでしょうか。

ここにおいては、要は、市道側のほうから敵が攻めてきた場合、大手門、今の櫓門のほうに隠れて鉄砲や矢を飛ばす前に石垣を横に積んでおったと。その石垣に沿って右側に敵の兵が曲がり、それから直進してまた左に回るとい、江戸時代は。しかし、そういうふうなことがあった場合に、その石垣を遮蔽垣という名称の名前ですか、言葉としては。これをどうやら復元するような方向の話はあっているんじゃないですか。その辺は教育長、どうなのかな、それがないと私は話し合いはできんことはないと思うんです。その石垣を造ろうという構想はあるんでしょう。いや、はっきり言えませんか、そういう方向があるかないかのことを、誰かが言いよっちゃないですか。

○議長（初村 久藏君） 教育長、中島清志君。

○教育長（中島 清志君） 大変申し訳ありません。現時点で、私はそのことを把握しておりません。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 私も初めて文化財のことで博物館の中に行った折に、遮蔽垣ですか、正式名称は。存じないんですか。教育長、遮蔽垣。いや、こういうことはあなた審議する中で知っとかないかん世界やないですか。そこの石垣が大手門の前、手前、櫓門の前にあったと。それを復元することが、話が出てこん話というのは、普通の職員が言うはずないんです。そういうふうな方向があるから、ここの中に駐車場としての方向を止めているなというのは、私はそういうことになればものが言えんなど。

もしそこを造らんとすれば、私は駐車場の跡地の利用を、先ほど市長が建設する頃の現場の活用の中でそこは使わせたと言うけど、その前に使っていましたから、バスが止まっていたから、そのことはどういう許可的なことで止まっておったんですかと、私はそういうふうに言いたかったんです。ところが、あなたのほうはそこを触れずに、建築資材置場のどうのこうので、3年間の使用があったというが、その前は、あそこにバスを止めておったんです。もともと観光バスが多くなった。最初は、今のふれあい処の、ちょうどたしか対馬藩の家老屋敷の跡にほとんど集中してバスはおったんです。その後、発掘調査をして、その上に今の施設を建てるというふうな条件で、バスの移動はそのときあったと思います。その辺、あるときには認めて、今回についてはさせない、防御を張っているなというのは、一般質問の、この二、三年の間の空気というのは、そういうふうな感じはするんです。

だから、今、教育長、私は知らんと言いましたが、遮蔽垣、これを復元するというふうな話をちょっと耳にしたんですが、全く知らんちゅうことでいいですか。

○議長（初村 久藏君） 教育長、中島清志君。

○教育長（中島 清志君） 今回の委員会の中で、私が出席している中で話し合われた内容としては、この文化遺産をもう少しきちんと周知していただけるために、案内板を詳しく設置しようということで、その中に、ここには昔こういう遺跡があったんだということを紹介するという計画は聞いておりますが、復元するということまでは私は承知しておりません。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 教育長と市長に確認いたしますが、委員会はそういうふうな9月12日に方向づけに5項目を掲げて、大手門、枅形虎口、金石城の敷地内のこの土地については、駐車スペースとしては認められないと。こういうことで結論を出したという、委員会の結論ですね。そういうことで取ります。それも別にあつたとおりの話だから。はっきり言えばそう

いうことでしょ。

そうすれば、このスペースは100%もう乗降もできないということになるんですか。ちょっとお尋ねします。入口のほう、乗降。

市長、今、64台の大型バスが走っていますよ。ちょっと調べました。9業者。それも、比田勝の港から巖原にやってくるということなんです。そこらが今から、私は昨日の質問で、どなたかのお答えした方は、現在、今年8月末で4万8,000人ですか、観光客の総数は。部長さん、たしかそういうふうに言った覚えがあるんですが、違いますか。2月からの数字。

○議長（初村 久藏君） 観光交流商工部長、阿比留忠明君。

○観光交流商工部長（阿比留 忠明君） お答えいたします。

2月の国際航路再開後、入国者数ということで申し上げますと、約5万5,000です。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 今の対馬を見ておれば、韓国は少し、船会社が3年半も運休されたら倒産しますよ。ですから、船会社は結構苦しんだことになって、大亜高速海運という20年近く対馬を走った会社がおられませんね、今回。そういうようなことで、船の料金が高いため観光客が3年半前よりはどんどん乗らないといううわさは聞いておりますが、しかしそれは回復していくでしょう。

国内のお客さん、これは部長、8月の末でどのくらい来ておるか、おおむねの数字は把握していませんか。

○議長（初村 久藏君） 観光交流商工部長、阿比留忠明君。

○観光交流商工部長（阿比留 忠明君） お答えいたします。

あくまでも国内の航路と空路で降りたお客様の数ということで申し上げますと、これには島内の方も含まれております。あくまで参考ということですが、1月から8月までで15万5,000人ほどという数字になっております。

純粹な観光客という数字とは言えないと思いますが、参考までにお伝えします。

○議員（16番 大浦 孝司君） いいです。結構です。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 私は過去の韓国観光客の最大の四十数万ということ、このときに経済的な消費額を2万3,000円前後で県ははじいておりましたが、約92億、3億の数字、ある数字では100億の数字ということ韓国側は言っておられましたが、今後そのことは、私は最終的には近い将来、元に戻ると思います。

そして、一つ特徴があるのは、大きいホテルができたおかげで、国内客の流入は、私はさらに増えると思うんです。以前は、韓国の旅行会社が全部宿を抑えて、入ろうに入られんやっったとい

う話はしょっちゅうしていましたから、これが少し解消したら、韓国と国内と多数、世界からやってくるように思います。そうしますと、今の水産業が120億割った数字が出ていますよね、水揚げ高が。私はこれを抜く勢いが近い将来、出てくると思いますから。

だから、市長、今の委員会の発言、決定したこと、憂慮するちゅうですか、困ったことだという結論は、私は出さないかんとします。それで、ちょっと申し上げるんですが、博物館と駐車場という言い方はいかんとですが、歴史の史跡その他いっぱい、あの近辺にあるもんですから、どうしても人が集まる場所と思います。ところが、韓国の観光客は、この実績として、博物館にどれだけ入られたかの概数をちょっと教えてください。国内でなくて、韓国の観光客。

○議長（初村 久藏君） 観光交流商工部長、阿比留忠明君。

○観光交流商工部長（阿比留 忠明君） お答えいたします。

4年度の実績ということで申し上げますが、入館者数は3万8,302人となっております。韓国のお客様と国内のお客様を分けてはカウントができませんもので、総数で3万8,302人という数字となっております。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 令和4年度の実績がそういうふうなこととなっておりますが、令和3年3回定例会の船越議員の質問に対して、入場をこのくらい常に1年間あってほしいというのは7万人です。一応。これは全員協議会か何かで出した数字じゃなかったらと思うんですが、そして40億の総額が本体工事含め全てかかっていると。維持管理費、1年間必ずお金が要る。そうしますと、これも全協の数字で書いていますが、5,900万という数字、これは当時の数字だと思うんですが、一応、今もそのくらいかかるだろうという見込みはいいですね。概略。そういうふうなことになれば大きな穴が開くわけですが、例えばこの5,900万で、入場した収入総額、これちょっと令和4年の実績で結構ですから。

○議長（初村 久藏君） 観光交流商工部長、阿比留忠明君。

○観光交流商工部長（阿比留 忠明君） お答えいたします。

令和4年度の博物館の使用料、これは観覧料でございますけれども、955万2,290円、約960万円です。これは平常展と特別展、あと年間観覧券を足したものでございます。（発言する者あり）約960万です。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 年間維持管理費の6,000万近い金が要りながら、1,000万弱の収入であるということでもあります。そうしますと、これはその補充というのは、特別何もなければ一般財源でカバーするということになりますね。どうですか、その辺の一般的

な常識の話なんです、そういうことで結構ですか。だから収支の差が、補助金関係がこれにあるということになれば、最後に、対馬市が幾らぐらい令和4年度のお金を持ち出さないかんやっ
たか、単独で。これがあれば教えてください。それで結構ですから。補助金関係はもう抜きにし
てお願いします。

○議長（初村 久藏君） 観光交流商工部長、阿比留忠明君。

○観光交流商工部長（阿比留 忠明君） お答えいたします。

先ほど、使用料の話をしていただきましたが、このほかにも、県が2階に、長崎県対馬歴史研究セン
ターが入っておりますので、その分の負担金とかもございまして、歳入の総額で申し上げます
と、4,260万円でございます。歳出のほうは、人件費等も入ってきますので、約1億
7,800万円という数字になります。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 私、今のまま進めば、あまりいいことがないんじゃないかなど
いう思いがするんですが、時間がありませんが、少し意見を市長にいただきたいと思ひます。

韓国の国は、公共施設、例えば、博物館とか、そういうふうな施設に、公共料金を設定して入
場するという事はない、もしくは少ないというふうなことを聞いているんですが、この問題は、
私は実績として今まで、万松院には入っておらんということは耳によくしていたんです。博物館
に対しては、ちょっと考えを変えんといかんっちゃないんかなと思ひます。

私の思ひは、韓国という国が入場料を取る公共施設には入らないというふうな事の中で、そ
れを私は入らせる仕組みをつくられると思ひます。これは、今、部長、私が聞いている範囲では、
現在、対馬の博物館に対して一般客が550円ですかね。そして団体客が440円、1人。歴史
館は220円やけど、ほか、子どもさんは無料ですかね。

○議長（初村 久藏君） 観光交流商工部長、阿比留忠明君。

○観光交流商工部長（阿比留 忠明君） お答えいたします。

歴史館のほうは、高校生、小学生までは110円をいただいております。未就学児については
無料ということでございますが、博物館のほうは、小中学生が220円をいただいております。
いずれも未就学児のほうは無料で御観覧いただけます。

○議長（初村 久藏君） 16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） ちょっと時間がない中で話を聞いていただきたいんですが、韓
国の観光客の乗った方々のバスを、1台40人から50人として、この方々を旅行会社が望むな
ら、全部受け入れる仕組みを私はつくるべきだと思ひます。というのが、金の問題ですから。対
馬市のほうが団体をどういう金額で割引くかは、もう1回検討し直して、韓国の国のほうにも、
私は釜山市に協議をお願いに行つて、こちらに来られる大人と子どもの料金を、この内容を過去

の対馬、江戸時代に非常に繋がっておった、非常に大切な歴史の証です。これはもう完全に学習です、子どもの。そして、大人の確認も含めて、大人、子どもも含めて韓国側の公共施設に入る仕組みはおそらく国が措置をしていると思うんです。ただでは入らせんわけですから。対馬の場合、これを半分は対馬が出すと、半分は旅行会社と韓国の国、これを話をつけることを私は手をかけてほしい。

そして、乗ったバスが全部博物館に入るようなことが起これば、私は逆転することがあると思います。そこらをひとつ考えてもらえませんか。今日の話で、出せ言うてうんちゃ言いませんけど、そうやけど、そういうことを考えて私はいいと思います。

そして、あと4分しかありませんから、市長、私は今日の話の中で前に進まない、進まない理由が金石城跡の史跡の中に駐車することを認めないというその委員会のことと、これを将来的には私はバスのスペースがない限り観光事業はスムーズにいかないという思いがございます。今日のことを確認した中で、対馬市役所のいわゆる将来の新設。このことが以前から上がっておりまして、この問題を今の格好で進んでおりますが、駐車場ができんとなれば、この問題を進めていかないかん私は方向になっておると思います。

百数十億を超える観光事業が完成したような絵が描けております。それに駐車場がないと、そういう話は私は通らないと思うし、できれば新庁舎の移転、これを厳原市内の振興局の合同にするか、そしてそれに敷地が足りない場合は、一部、今の部を厳原に置く部とそれからその近辺に置く部、これを分けて検討することが私は必要と思います。そうしないと、観光対馬という厳原をメインとしたこの絵が描けないんです。

さっき言いましたように、壱岐はそれだけのことをしておりました。それは土地があるからでしょう。しかし、少ない中での対馬の土地の使い方は、そのような思い切った決断をせないかん、それをどう思うか、私はそういうふうな方向づけを転換せないかん時期が来たと思います。今の話の中で。

ですから、一遍はバス業者と対馬市と話をされて、その後、どう市はかじを切るか。これは今の状態で交番前で乗ってくれとかいう話は、私は通用せんと思います。それはこれだけの大きなことをつくった市の責任として考え直してもらわないかんと思います。

残り1分ですが、市長、何か今の私の話があれば教えてください。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） まず、初めに、先ほど教育長のほうから9月12日付での検討委員会での4つの意見等を述べさせていただきました。この中でも、特に、文化財の保存、活用を答申する委員会として積極的に了承することはできないという文章ですから、ここら辺も完全に駄目だよというところまでは、私、まだこれは至っていないのかなという気持ちもありますので、今

後、協議をすることも可能ではないかというふうに思っております。

それと、対馬市の庁舎のほうにつきましては、今、市民も巻き込んだ検討委員会のほうでいろいろと議論を重ねていらっしゃると思いますので、私がここでいろいろと言うことは差し控えたいというふうに思っております。

以上です。

○議員（16番 大浦 孝司君） 終わります。

○議長（初村 久藏君） これで、大浦孝司君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 以上で、本日予定しておりました市政一般質問は終わりました。

明日も引き続き、定刻から市政一般質問を行います。

本日は、これで散会とします。お疲れさまでした。

午前11時57分散会
